



# 埼玉県の奨学金制度について



埼玉県保健医療部医療人材課

# 医師確保の状況について①



## 医師数

▶増加数 (令和2年→令和4年)  
**167人 (第7位)**

この10年間 2,536人 (第5位)

▶増加率 (令和2年→令和4年)  
**1.3% (第23位)**

この10年間 23.7% (第1位)

令和4年12月31日現在

**13,224人 (第7位)**

## 臨床研修医

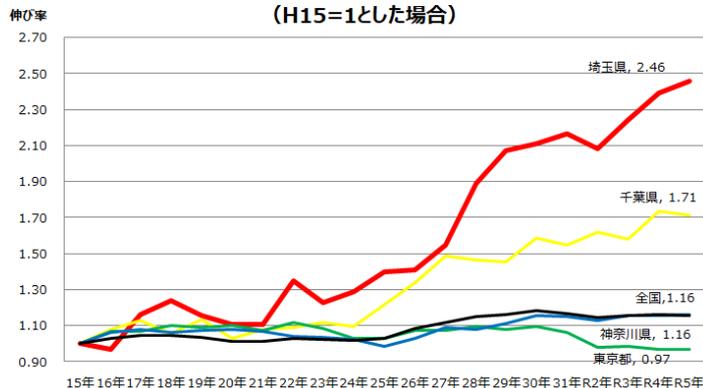
▶増加数 (平成15年→令和5年)  
**241人 (第1位)**

▶増加率 (平成15年→令和5年)  
**2.46倍 (第1位)**

令和5年度  
マッチング者数

**406人**

臨床研修医内定者数の伸び率 (H15~R5)  
(H15=1とした場合)



# 医師確保の状況について②



## 医師数

人口10万人当たり医師数

**180.2人 (第47位)**

医師偏在指標

**196.8 (第42位)**

## 必要な医師数を左右する主な要因

### 1 地域の人口構成

平均年齢が高いと医療ニーズが増大

### 2 患者の受療行動

県内外への流出入により医療ニーズが変化

### 3 医師の担当科や年齢

医師の診療科偏在や労働力が医療の需給に影響

#### <医師偏在指標算定における5要素>

- ①医療需要（ニーズ）及び将来の人口・人口構成の変化変動
- ②医師の性別・年齢分布
- ③医師偏在の種別（区域、診療科、入院/外来）
- ④患者の流出入
- ⑤へき地等の地理的要件

# 医師確保の課題



## 地域偏在

川越比企、利根、北部、秩父医療圏において、人口10万人当たりの医師数及び10年間の医師の増加率が県平均を特に下回っている

医療圏	平成24年 (人)	令和4年 (人)	平成24年→令和4年		10万人当たり 医師数(人)
			増加数(人)	増加率(%)	
埼玉県	10,688	13,224	2,536	23.7	180.2
南部	1,022	1,260	238	23.3	156.0
南西部	746	1,010	264	35.4	138.2
東部	1,568	1,948	380	24.2	169.0
さいたま	2,005	2,670	665	33.2	199.3
県央	692	948	256	37	179.1
川越比企	1,678	1,907	229	13.6	241.2
川越比企(北)	267	274	7	2.6	132.4
川越比企(南)	1,411	1,633	222	15.7	279.7
西部	1,351	1,744	393	29.1	227.0
利根	809	899	90	11.1	142.7
北部	672	703	31	4.6	141.6
秩父	145	135	▲10	▲6.9	147.4

※ 網掛けは医師の確保が必要な地域として奨学金貸与条例で定める「特定地域」を指す。

## 診療科偏在

特定診療科（産婦人科・産科、小児科、救急科）の医師が特に不足している。

- 産婦人科・産科 周産期医療の医師確保が厳しい
- 小児科 小児2次救急輪番体制の空白日
- 救急科 救命救急センターの医師確保が厳しい

診療科	令和4年	
	医師数(人)	割合(%)
埼玉県 (全体)	13,224	—
内科	3,093	23.4
外科	1,105	8.4
産婦人科・産科	476	3.6
小児科	850	6.4
救急科	197	1.5

# 埼玉県総合医局機構による支援①



## 埼玉県総合医局機構による支援

- ▶ 医師の不足
- ▶ 医師の地域偏在・診療科偏在

医師確保や医師の偏在の解消に取り組む  
コントロールタワーの必要性

## 埼玉県総合医局機構の創設

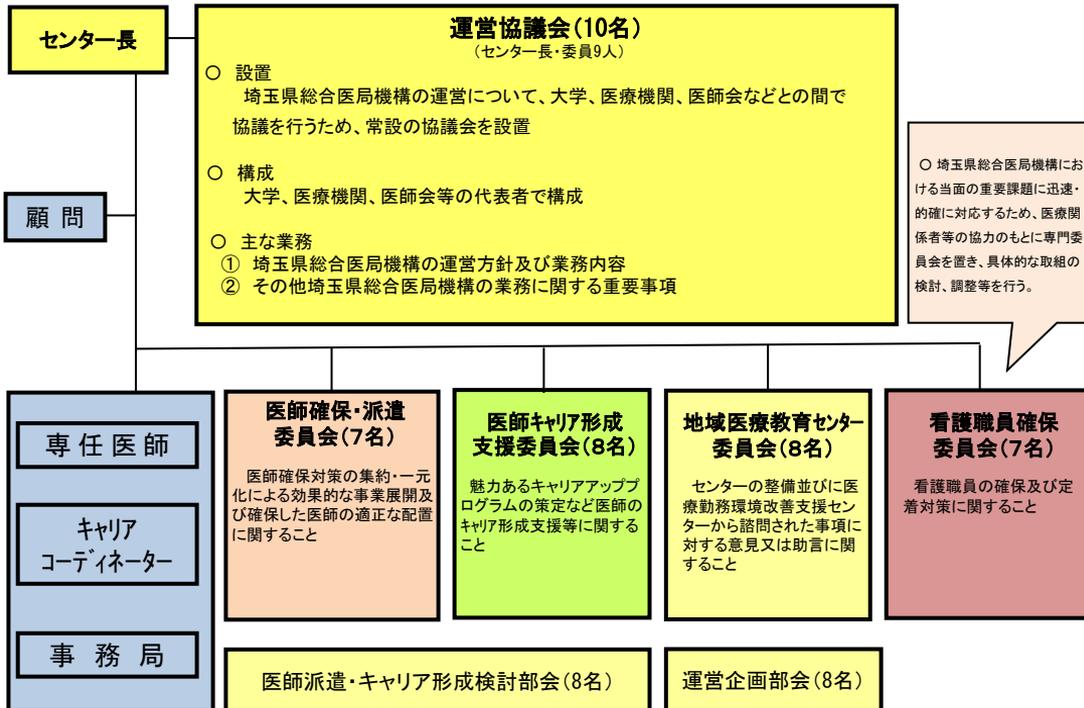
(平成25年12月)



▶ 医師の「確保・派遣」と「支援」を実施

## 埼玉県総合医局機構の組織図

### 埼玉県総合医局機構



# 埼玉県総合医局機構による支援②



## 研修環境の整備

### ▶ 地域医療教育センターの運用

- ・医療従事者向けシミュレータ教育・研修施設
- ・行政直営は**全国初**

開設からの利用実績 (H29.4～R6.3)	利用件数	利用者数
	1,776件	50,808人

母体救命研修



超音波画像診断研修



## キャリアステージに応じた医師の確保・支援

中高生

### ▶ 学生の志養成

医療体験、医師との懇談会 <H25～**延べ942人**参加>

### ▶ 奨学金制度

「地域偏在」・「診療科偏在」の解消

### ▶ 県内臨床研修病院への誘導

病院合同説明会

### ▶ 交流会や情報提供の場

埼玉県研修病院セミナー

<臨床研修医や医学生が専門研修基幹病院と交流>

### ▶ 研修資金制度

産科・産婦人科、小児科、救急科の医師確保

### ▶ 県内専門研修病院への誘導

埼玉県専門研修プログラム N a v i

<特設WEBサイトで県内の専門研修プログラムを紹介>

### ▶ キャリア形成支援

キャリアコーディネーターによる相談支援

医学生

研修医

専門医

指導医

**「地域偏在」・「診療科偏在」の解消を目指す**

# 奨学金制度 概要



## 奨学金制度の概要

県に愛着があり、「将来医師として埼玉県地域医療に貢献したい」という強い意志を持つ  
医学生に奨学金を貸与する制度

### 【奨学金の種類】

**埼玉県出身者奨学金** 県出身者の埼玉県外の大学医学部での修学を支援

**地域枠医学生奨学金** 県指定大学医学部での修学を支援

- ・**獨協医科大学** ・順天堂大学 ・日本医科大学 ・日本大学
- ・北里大学 ・東京医科大学 ・東京医科歯科大学 ・埼玉医科大学

### 【貸与額】

月額20万円 6年間で1,440万円（国公立は月額15万円）

### 【返還免除要件】

県内臨床研修病院での2年と下記①か②に7年の合計**9年間**勤務

- ① 県内病院の**小児科・産科・救命救急センター**
- ② **特定地域（特に医師が不足している地域）の公的医療機関**

# 奨学金制度 卒後の勤務①特定地域



1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
臨床研修		専門研修			指定勤務			
県内の 臨床研修病院		①産科、小児科、救命救急センター ② <b>特定地域の公的医療機関</b>			①産科、小児科、救命救急センター ② <b>特定地域の公的医療機関</b>			

## 特定地域の公的医療機関

- ① 秩父市立病院
- ② 国民健康保険町立小鹿野中央病院
- ③ 深谷赤十字病院
- ④ 埼玉県立循環器・呼吸器病センター
- ⑤ 小川赤十字病院
- ⑥ 東松山市立市民病院
- ⑦ 済生会加須病院



# 奨学金制度 卒後の勤務 産科・小児科



## ■ 県内病院の産婦人科・産科 病院数 42 (R4.10.1時点)

	二次医療圏										
	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	総計
病院数	5	5	6	7	2	5	4	3	5	0	42

## ■ 県内病院の小児科について 病院数 107 (R4.10.1時点)

	二次医療圏										
	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	総計
病院数	9	10	13	12	5	16	15	12	12	3	107

# 奨学金制度 卒後の勤務③救命救急センター



- 1 さいたま赤十字病院 高度救命救急センター（さいたま市）
- 2 埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター（川越市）
- 3 深谷赤十字病院 救命救急センター（深谷市）
- 4 川口市立医療センター 救命救急センター（川口市）
- 5 防衛医科大学校病院 救命救急センター（所沢市）
- 6 獨協医科大学埼玉医療センター 救命救急センター（越谷市）
- 7 埼玉医科大学国際医療センター 救命救急センター（日高市）
- 8 自治医科大学附属さいたま医療センター 救命救急センター（さいたま市）
- 9 さいたま市立病院 救命救急センター（さいたま市）
- 10 国立病院機構埼玉病院 救命救急センター（和光市）
- 11 済生会加須病院 救命救急センター（加須市）

「埼玉県の地域医療に貢献したい」  
という強い意志を持つ学生の方を  
お待ちしております。

